

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



令和5年度 岩出市学校教育の指導方針と重点 未来に輝く子供を育てるために

めざす子供像（小中9年プラン）

将来に向けた「生きる力」をもった子供

確かな
学力

豊かな
心

健やかな
体

持続可能な社会の創り手へ



岩出市イメージキャラクター
そうへいちゃん

批判的に
考える力

未来像を
予測し計画
を立てる力

多面的・
総合的に
考える力

コミュニケーション
を行う力

他者と
協力する
態度

つながりを
尊重する
態度

進んで
参加する
態度

カリキュラム
マネジメント

令和の
日本型教育

分かる喜び
学ぶ楽しさ

いじめ・不登校
対応

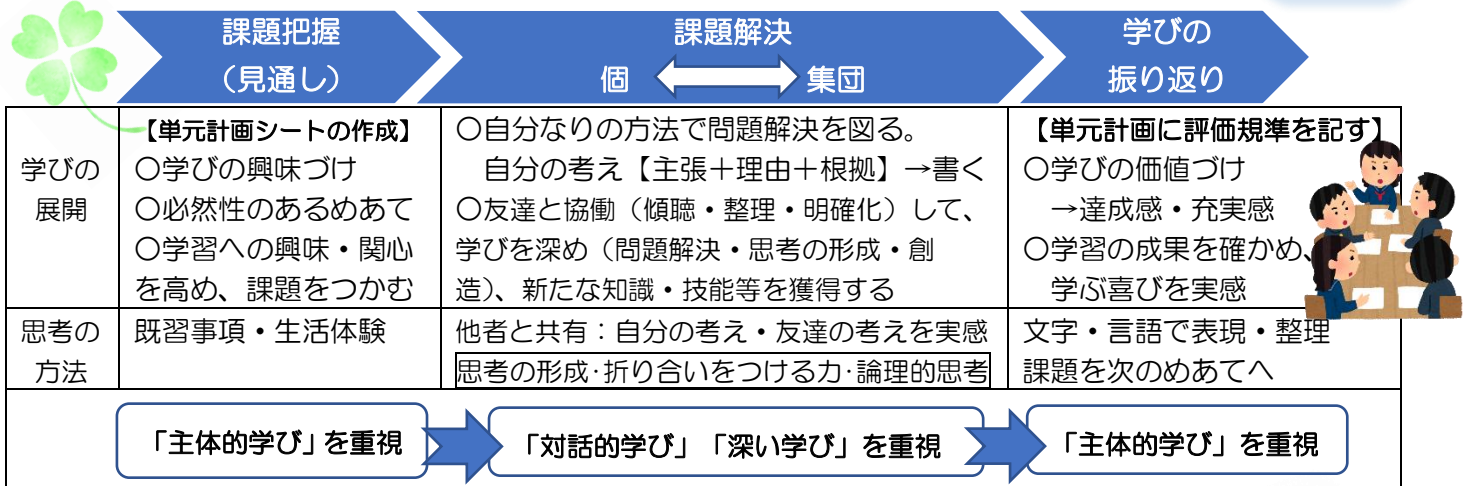
教職員の資質向上
と働き方

地域と
共にある学校

体力向上

○ ICT 環境を最大限活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

- ・ **個別最適な学び**とは・・・子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、きめ細かく指導・支援
指導の個別化（柔軟な提供）と学習の個別化（個に応じた機会を提供）
- ・ **協働的な学び**とは・・・探究的な活動や体験活動を通じ、子供同士あるいは多様な他者と協働



○指導と評価の一体化：付けさせたい力をどのように評価するかを明らかにして共有→個に応じた指導の充実

●言語活用能力：発達段階に応じた言語活動活動の目的を明確にして設定

☞自分の考えをしっかりと持たせる発問

●問題発見・解決能力

プロセス（学習過程）の設定、多様な人々と協働しながら問題を解決

☞問題発見～問題の整理・定義～解決方法の計画・立案～結果予測・実行～振り返り

●情報活用能力≪情報を手段として活用し、問題の発見や解決、自分の考えをまとめる≫

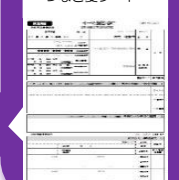
☞付けたい力を明確にした授業とICTを活用した効果的な指導

○特別支援教育 障害のある子供一人ひとりのニーズを正確に把握し、将来的な自立と社会参加を見据え、連続性のある一貫した支援の充実と多様な学びの場の整備

つなぎ言葉	～子供の学びのプロセスを描こう～
理由・反論	だって～、なぜなら～、理由は～、このことから～
比較・順序・添加	一つ目は～、～と比べて、AとBを比べると、または
逆接・折り合い	でも、共通点は、まとめると、Aの立場から～、Bの立場から～
例示・要約・仮定	例えば～、具体的には～、もし〇〇なら、〇〇だとすると



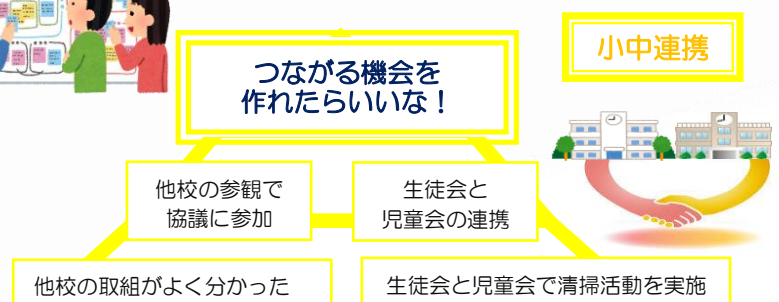
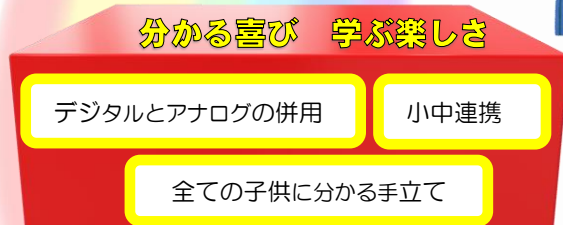
つなぎ愛シート

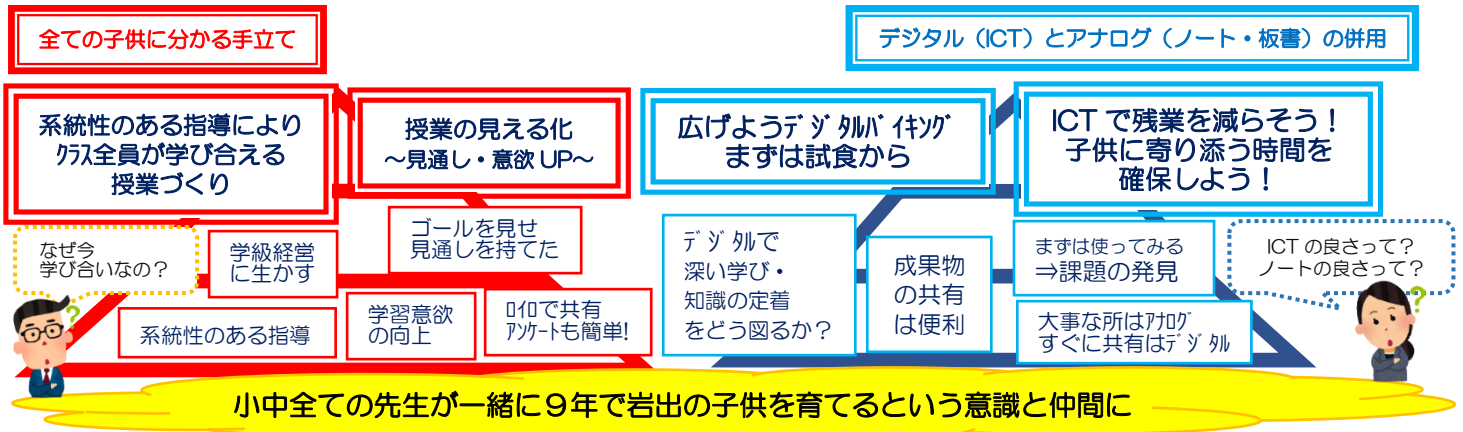


岩出市教育情報化推進計画（第2期）参照

分かる喜び・学ぶ楽しさ

【岩出市学力向上プロジェクトチームより】





3 いじめ・不登校対応

豊かな人間性の育成

～命を大切にする心や他人を思いやる心、
感動する心など、子供の豊かな人間性の育成～

○成長を促す積極的生徒指導

① いじめ対応（いじめ防止対策推進法より）

- ・疑われるときは、「学校いじめ対策組織」へ報告
（抱え込みは許されない）《迅速かつ適切な対応》
- ・学校は速やかにいじめの事実の有無を確認
- ・被害児童生徒またはその保護者への支援
＋ 加害児童生徒への指導またはその保護者への助言
- ・被害児童生徒が安心して教育を受けられるために必要な措置（別室指導等）を検討
- ・いじめに係る情報を、加害児童生徒・被害児童生徒双方の保護者と共有

② 不登校対応

- ・生物・心理・社会モデル（BPSモデル）による
アセスメント
- ・児童生徒の支援ニーズの早期把握
～「居場所づくり」から「絆づくり」へ～
「心理的安全性」と「信頼関係」の形成

③ 児童虐待の防止

- ・SC・SSW、警察署、児童相談所・こども家庭センター
関係機関との連携強化と早期発見・通告等対応の徹底

④ 特別の教科 道徳・・・考え議論する

- ・教師の働きかけ：主題にせまる発問
（問い直し・問い返し・掘り起こし・切り返し・揺さぶり・くい込み）
- ・自己の生き方につなぐ
- ・自他との対話で深める・自己調整力
- ・道徳が温かい時間、安心できる時間につながる

●自殺予防教育の観点→子供の SOS の出し方に関する教育

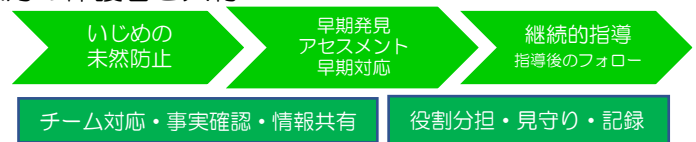
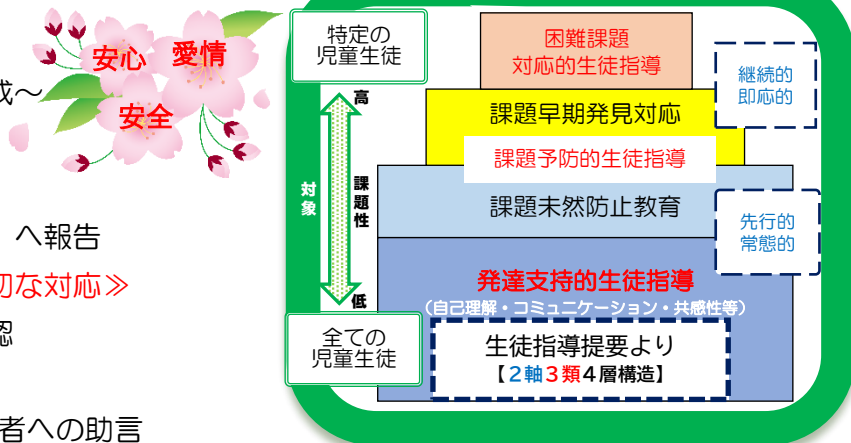
子供が他人の援助を求める力・弱音を吐く力・逃げる力

T(Tel:言葉にして伝える) A(Ask:尋ねる) L(Listen:傾聴) K(Keep safe:安全確保)の原則

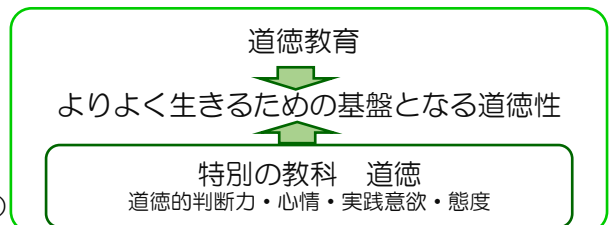
○教育活動全体を通じ発達段階に応じた人権教育の推進

○情報リテラシーの向上に向けた実践的な教育の充実・徹底

OSST（ソーシャルスキルトレーニング）



現在 不登校でない	兆しなし	集団指導	未然 防止へ
	兆しあり	個別指導	
現在不登校がある		社会的自立へ	



心の灯火となる道徳へ

認められる→自己有用感
自己決定による自己指導能力



健やかな体

～ 生涯を通じて心身共に健康な生活を送るために ～

- 感染症の感染防止（手洗い・換気等）と正しい知識（差別的な言動に同調しない）
- 早寝・早起き・朝ごはんの推進【基本的な生活習慣の確立】
- 運動やスポーツの実践と体力の向上
- 運営や指導の在り方を考えた適切な部活動の充実
- 学校給食における衛生管理の徹底・食育の充実
- アレルギー疾患等を有する児童生徒への対応に学校全体で取り組む危機管理体制づくり
- 家庭と連携した使用時間などのルール化によるスマートフォンやゲーム依存予防



教職員の資質向上と働き方

～ OJT から OJL（On the job learning）学び自ら成長する教員へ ～

- 服務規律の順守：児童生徒の人格形成を支援する自覚と責務
- 公開授業の推進及び校内研修の充実
- 発達段階に応じた児童生徒理解を通じた日頃からの学級経営の充実

- ・伸び伸びと生活できる学級・子供と教師の笑顔があふれる学級・共感しあう学級
- ・子供と担任の信頼関係・子供相互の温かい人間関係・学習規律の確立

支え合い学び合う
同僚性

○指導力や専門性向上に日々努め、教職員研修等に積極的に参加し、自己の資質向上を図る

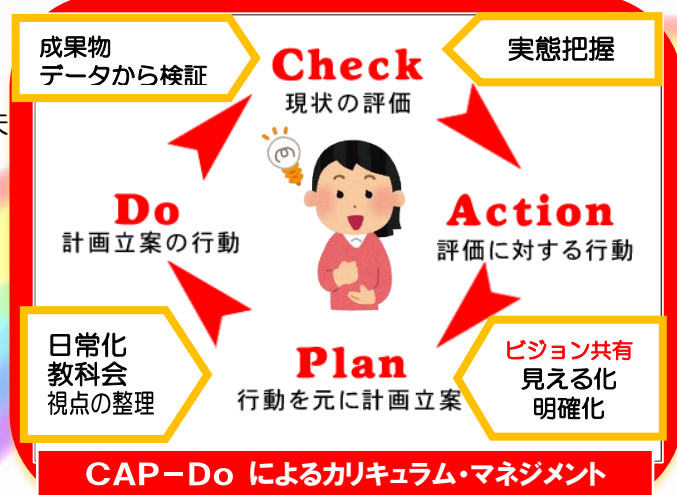
○全ての教員に求められる特別支援教育に関する専門性

障害の特性等に関する理解や、特別支援教育に関する基礎的な知識、個に応じた分かりやすい指導内容や指導方法の工夫

○「チーム学校」の充実 ～すべては子供のために～

○カリキュラム・マネジメント・・・教育目標を踏まえ、教育課題を明らかにし、各教科等の教育内容を相互の関係で捉えた教科横断的な視点で、カリキュラムを組織的に編成
共同、協同から協働へ⇒子供に必要な資質能力を身につける

●業務の精選とワークライフバランスの視点による校務効率化



地域とともにある学校

○人間の魅力にあふれ、子供や保護者、地域から信頼される教員

○きのくにコミュニティスクールを通じた学校・家庭・地域が連携・協働し、地域全体で子供の成長を支える

○学校新聞やHP等を活用し、家庭・地域へ積極的に発信する

○幼小連携・接続推進・・・互いの理解を深めて、スタートカリキュラムの充実へ



その他 岩出市の継続的な取組

◇読書活動の推進

- ① 学校と岩出図書館の連携
- ② 図書館司書による支援
- ③ 朝読・読み聞かせ・ビブリオバトル
- ④ 調べ学習の推進と読書習慣の確立

◇フットワーク・ネットワーク・チームワーク

○家庭、地域、関係機関等と連携した防犯教育の推進

○歩行・自転車利用の交通ルールやマナーの習得と、地域・警察等と連携した交通安全教育の充実と事故防止

○防災教育及び関係機関等と連携した実践的な避難訓練の実施

○学校プールや体育施設、校舎等の安全点検及び事故防止策の充実

○危機の確認と学校安全計画・危機管理マニュアルに基づいた危機管理の徹底

◇キャリア教育に教育活動全体を通じて取り組み、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力・態度を育成

◇地域を愛する心情や誇りを育むため、地域資源を活用したふるさと教育の推進 ◇国際理解教育の推進



先生方は、自校の課題、教育目標、求められる授業の在り方など自分の言葉で語れるだろうか？